

令和4年6月27日(月)

令和4年度第1回立川市立第三小学校学校運営協議会 次第・議事録

【日時】 令和4年6月27日(月) 9:30~10:45

【場所】 立川市立第三小学校 北校舎1階 家庭科室

【役割】 ・司会、記録：副校長

【次第】

- (1) 委員の確認、委員長の選出
- (2) 学校教育説明 ⇒ 動画にて
- (3) 授業や行事の様子 ⇒ ホームページから(スーパー3、学年・専科ページ等)
- (4) 立川市民科の取組
- (5) PTAから
- (6) その他

\* 質疑は、それぞれの項目の中で承ります。

令和4年度 学校運営協議会 委員一覧

- |      |               |                |
|------|---------------|----------------|
| ・委員長 | 市川 敏夫 (地域代表)  |                |
| ・委員  | 伊藤 正人 (地域代表)  | 小川 妙子 (地域代表)   |
|      | 志村 広一郎 (地域代表) | 杉浦 友和 (PTA 会長) |
|      | 中島 寛 (地域代表)   | 永島 康雄 (地域代表)   |
|      | 田村 聡 (校長)     | 上野 徹 (副校長)     |
|      | 中村 直也 (主幹教諭)  |                |

## 【委員の方々からのご意見・ご感想、ご質問等】

・「委員」…学校運営協議会委員6名（1名欠席）それぞれから      ・「学校」…校長、副校長

### 「(1) 委員の確認、委員長を選出」について

\*委員1人一言ずつ挨拶を終えた後、委員長を選出。

⇒ 委員長は全会一致で「市川 敏夫」委員に決定。

### 「(2) 学校教育説明会」について

\*保護者向けに公開している動画を視聴した後、質疑や感想へ。

#### 教科担任制

委員：今年度も教科担任制を研究していくということだが、各学年の体制・教科等はどうなっているのかを具体的に教えてもらいたい。

学校：今年度からホームページ上にも各学年の指導体制を一覧にして載せているので、それを見ながら説明する。（ホームページ内「教科担任制」を大型テレビに投影して、6年生を例に挙げて説明。）主に4～6年で実施している。

委員：5年生は6年生と同じような教科で行っているのか？

学校：6年生と違って5年生は2学級で担任も2人なので、体育と家庭は教科担任制ではなく、それぞれの担任が指導している。今後も学級数や学級担任等の状況に応じて、工夫しながら教科担任制を実施していく。（ホームページ内「教科担任制」の4・5年生を大型テレビに投影して説明。）

委員：昨年度から取り組んできて、メリットやデメリットは見えてきたか？

学校：メリットは大きいと感じる。ホームページでも掲載しているように、「教員の専門性を深めて授業の質向上、児童の学力や体力の向上を図れる」点、「行事だけでなく、日常の授業について学年内で連携して指導にあたる」点、「教科間の連携を図ることで学びを深められる」点、「中1ギャップの緩和が見込まれる」点などが挙げられる。

委員：先生たちもメリットを感じているのか？

学校：年度当初の管理職との面談の際に、当該の教員から話が出ることもあった。先述した4点以外にも、授業や教材を研究する教科を絞ることができるので教員個々の「働き方改革」を図ることができる点も挙げられる。ただ、この点は第一の目的ではなく、副次的な要素なのでホームページには載せていないが、学校として大きなメリットと言える。

委員：では、デメリットは？

学校：ゼロではない。例えば、時間割の編成上、「1日を通して担任が自分の学級で授業をする時間が全くなく、様々なことを伝えられる時間が『朝の会と帰りの会だけ』になってしまう」ということがどうしても出てきてしまう。昨年度も課題として挙げたことであり、時間割編成担当を中心に改善を試みているが、完全にゼロにするのは難しいのが現状である。

委員：でも、これだけのメリットがあるのであれば、中学校の準備段階ということもあるから続けるべきなのだろう。